



あづまだい

登校わくわく 学校いきいき 下校にここに

千葉市立弁天小学校

学校だより

No.6 (10月号)

令和8年9月30日



令和8年度の教育活動も、 まもなく折り返し地点です

前期の授業日も残すところ、あと6日間となりました。蒸し暑い風から涼しい風へ、入道雲からすじ雲へ、セミの鳴き声からスズムシやマツムシの音色へ、身の回りの環境の変化から、季節は秋へと移り変わったことを感じます。

さて、令和8年度の教育活動も10月8日(木)で前期終業式を迎え、折り返し地点を迎えます。終業式では、今年度4月からの、“学校での”お子さんの学習

や生活の様子をお伝えする通知表「あゆみ」をお渡しします。子どもたちは、「学校」「家庭」「地域」とさまざまな場での活動を通して、成長しています。その中の「学校」という一部分、さらには1年間の学習内容の半分の評価です。個人の能力を示したものではありません。よい成績を残せた人は、これを励みに後期へのステップアップにつなげてください。また、本来の力を発揮できなかった人はその悔しさをばねに、後期は飛躍できるように頑張っていきましょう。「人生は敗者復活戦」うまくいかなかったときほど、大きく成長できるチャンスです。「あゆみ」は後期の飛躍へのヒントになると思います。

パナソニック(旧松下電器産業)の創業者、松下幸之助さんは、次のような言葉を残しています。「ダイヤモンドの原石は磨くことによって光を放つ。しかもそれは、磨き方いかん、カットの仕方いかんで、様々に異なる燦然(さんぜん)とした輝きを放つのである。私は、人間というものはそれぞれに磨けば光る、様々なすばらしい素質をもったダイヤモンドの原石のごときものだと思う」「友達に優しくできるよさがある」「算数の主体的に取り組む態度は◎」「運動会ではリレーの選手となり力いっぱい走っていた姿に頼もしさを感じた」など、「あゆみ」には教育のプロである学級担任が見取ったお子さんのキラリと光る部分をお知らせしています。まずは、お子さん一人一人が自分のよさに自信をもつことが大切です。そのよさを更に磨いていくためには、一人一人の頑張ろうとする気持ちや努力が必要です。

「上手だね」「よくできたね」というように、「上手・下手」「できた・できない」という軸で評価してしまうと、「もっと上手にしなければ」「できないのはよくないことだ」とお子さんに思わせてしまいかねません。お子さんの頑張ろうとする気持ちや努力を一押しできる言葉(「さすがだね」「うれしいよ」「助かるよ」「大丈夫だよ」「ありがとう」「頑張っているね」など)をお子さんにかけてください。

秋休み明け10月14日(水)から後期の学習が始まります。一人一人が自分のよさに自信をもち、やる気に満ちたスタートができますよう、ご家庭でもご配慮ください。教職員も秋休みはリフレッシュして、後期の学習が楽しくできるよう準備を整えます。後期の教育活動では、子どもたちのキラリと光るよさをもっと多く見取り、認めて、伸ばしていくよう努めていきます。

今後ともご協力とご支援を賜りますよう、お願いいたします。

- | | | |
|----|---------------|-------------------------|
| あ | 「あかるいあいさつ」 | 自分から挨拶しましょう。 |
| づ | 「つづけるどりょく」 | めあてをもって頑張りましょう。 |
| ま | 「まごころでやさしく」 | 自分にも、お友達にも、優しくしましょう。 |
| だい | 「だいすきなえがおの学校」 | みんなで笑顔いっぱいの自慢の学校にしましょう。 |